

名古屋駅周辺地区における配水管の耐震化区域拡大について（概要）

上下水道局技術本部 管路部 配水課 伊藤 典昭

名古屋駅周辺では、令和 9 年開業予定のリニア中央新幹線に伴い、再開発事業が数多く進められており、名古屋駅周辺の重要度が今後さらに高まることから街の整備に合わせて防災性の向上が求められている。そのため、令和元年度に策定した「名古屋市上下水道経営プラン 2028」では、再開発事業の機会を捉え、「名古屋駅周辺地区」と範囲を定めた区域において、優先的に配水管の耐震化を進めていくこととしている。しかし、都市機能が高度に集積する地域であることから、大規模地震発生時には多くの帰宅困難来訪者が発生し、現在優先的に耐震化を行っている区域内だけでは対応できず、区域外にも水を求めて人が溢れることが考えられる。

そこで、本稿では給水の確保に万全を期すため、現在優先的に耐震化を実施している名古屋駅周辺地区の区域拡大について検討した。新たに拡大する区域の名称を「耐震化促進地区」とし、設定範囲の妥当性や、更新対象管路を拡大して前倒しでの更新を行ったとしてもアセットマネジメントに影響がないことが確認できた。